

文学者

片山廣子、堀辰雄、室生犀星、

川端康成、島崎藤村ら、

文学者の貴重な手紙を

紹介します。



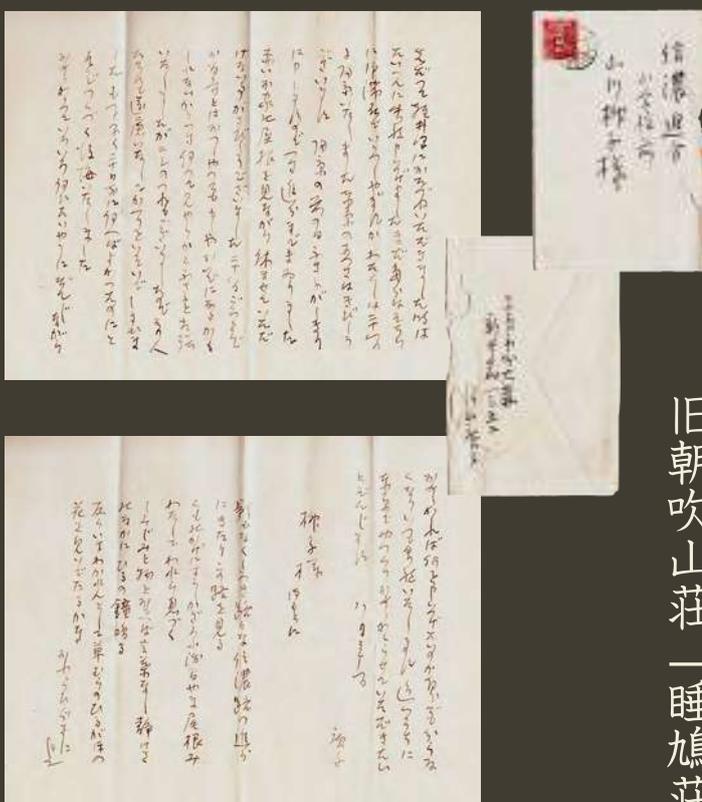
堀辰雄から室生犀星宛はがき（表・裏）1931年（昭和6年）
4月6日付 富士見高原療養所から東京大森馬込町谷中 1077

堀辰雄（一九〇四—一九五三）は小説家。『聖家族』を書き上げると啖血し、一時期は信州の富士見高原療養所に入る。葉書はその当時のもの。堀は『美しい村』『風立ちぬ』など、軽井沢を舞台に、愛と死をテーマにした作品を発表した。

の手紙展

二〇二三年 八月一日（火）—三十一日（木）

旧朝吹山荘「睡鳩荘」



片山廣子から山川柳子宛書簡（大正14年）8月31日付
東京大森新宿 1352 から信濃追分 小学校前

片山廣子（一八七八—一九五七）は歌人・アイルランド文学翻訳家。芥川龍之介は片山に軽井沢で出会い、『或阿呆の一生』で「オカの上にも格闘出来る女」と書いた。堀辰雄の『聖家族』の「細木夫人」、「菜穂子」の「三村夫人」のモデルとも言われる。

旧朝吹山荘
睡鳩荘

会期：2023年8月1日（火）～8月31日（木）9:00～17:00（会期中無休）
会場：旧朝吹山荘「睡鳩荘」（国登録有形文化財）2階
料金：軽井沢タリアセン入園料大人 800円 小中学生 400円 睡鳩荘入館無料

【お問い合わせ】 軽井沢タリアセン TEL 0267-46-6161（代） FAX 0267-45-3663 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 217